



2023年5月11日

各 位



会社名 J C R ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信  
(コード番号 4552 東証プライム市場)  
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕  
(TEL 0797-32-1995)

アンジェリーニファーマと J C R ファーマ、てんかんに対する  
新規生物学的治療薬の開発と商業化に向けたグローバル提携を発表

当社と Angelini Pharma は本日、てんかんを対象疾患として血液脳関門通過技術 J-Brain Cargo®を適用した新規生物学的治療薬の独占的グローバル開発および商業化契約を締結しましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

なお、本件に関して今期（2024年3月期）の当社連結業績への影響は軽微であり、期初予想に織り込み済みです。

以 上

## アンジェリーニファーマと JCRファーマ、てんかんに対する 新規生物学的治療薬の開発と商業化に向けたグローバル提携を発表

- アンジェリーニファーマの神経疾患に関する専門知識と JCRファーマの科学的・技術的な強みを融合させ、血液脳関門を通過する画期的な治療薬の共同開発を行います。
- 本契約により、アンジェリーニファーマはてんかんを対象疾患とした血液脳関門通過型の新規薬剤に関する開発・商業化のための独占的オプション権を取得します。
- JCRファーマは契約一時金を受領し、今後マイルストーンと段階的なロイヤルティを受け取る権利を有するほか、日本における商業化の権利を保持します。

ローマおよび芦屋、2023年5月11日 — Angelini Industries が所有する株式未公開会社 Angelini Pharma (以下、アンジェリーニファーマ) と JCRファーマ株式会社 (以下、JCRファーマ) は本日、てんかんを対象疾患として、血液脳関門通過技術 J-Brain Cargo®を適用した新規生物学的治療薬の独占的グローバル開発および商業化契約を締結しましたので、お知らせいたします。

JCRファーマは、J-Brain Cargo®を適用した血液脳関門通過型の新規生物学的治療薬の分子探索とフィージビリティ試験を担当し、INDにむけた開発を両社で協業します。J-Brain Cargo®技術は、受容体を介するトランスサイトシスと呼ばれるメカニズムにより、生物学的治療薬を中枢神経領域に輸送する JCRファーマの独自技術です。非臨床試験以降、アンジェリーニファーマは、本共同研究にて特定された治療薬候補物質を臨床開発に進め、日本以外の国におけるグローバル商業化のための独占的ライセンスオプションを有します。

本契約に基づき、JCRファーマはアンジェリーニファーマより研究費の償還を受け、契約一時金を受領します。また、研究開発および販売に関する特定のマイルストーン達成に応じて最大 505.5 百万ドル (約 657 億円 1ドル=130円換算) を受領するほか、販売後の売上高に応じた段階的なロイヤルティを受領する権利を有しています。

アンジェリーニファーマの CEO である Jacopo Andreose は次のように述べています。

「てんかんは最も一般的な慢性神経疾患の 1 つです。過去 10 年間で、てんかんは身体障害による負担が大きく死亡率が高い社会的疾患であると認識されており、十分な治療を受けていない患者さんのために、的確な治療法を特定するさらなる研究が早急に必要です。バイオ技術への豊富な専門知識を有する JCRファーマとの戦略的提携により、両社の強みを活かして、この分野における生物学的製剤の活用を模索し、てんかん患者の皆さんが切に必要とする治療選択肢の提供に注力いたします。」

JCRファーマの代表取締役会長兼社長である芦田 信は次のように述べています。

「神経疾患の臨床研究において、血液脳関門は捉えがたいターゲットであり続けており、今回のアンジェリーニファーマとの提携で、神経疾患に対し新たな治療法をもたらすことができることを大変嬉しく思っています。当社独自の J-Brain Cargo®技術は神経疾患の治療に対する重要なカギとなることを確信しています。当社のバイオ技術とアンジェリーニファーマの神経疾患治療に

対する深い知識を生かすことで、てんかん患者の皆さんに画期的な標的療法を提供できることを期待しています。」

てんかんは、世界で5,000万人以上が罹患<sup>※</sup>していると考えられており、世界で最も一般的で、深刻かつ慢性的、また患者さんを衰弱させる神経疾患の1つであると言われていています。年齢、人種、社会ステージに関係なく発症し、神経生物学的、認知的、心理社会的に多くの影響を及ぼします。患者さんの多くは、既存薬では発作を抑えることができず、生活のあらゆる面で大きな影響と負担を強いられており、この疾患から長期的に解放される可能性のある新たな治療法に高いアンメットニーズがあります。

#### <アンジェリーニファーマについて>

アンジェリーニファーマは、メンタルヘルス、てんかん、コンシューマーヘルスを含む中枢神経領域の研究開発・商業化に注力する Angelini Industries における国際的な製薬企業です。20世紀初めにイタリアで設立され、現在は20カ国で事業活動を展開し、従業員数は3,000名以上に達しています。アンジェリーニファーマの医薬品は国際的な大手製薬企業との戦略的提携を通じて70カ国以上で提供されています。

詳しくは <https://www.angelinipharma.com> をご覧ください。

#### <Angelini Industries について>

Angelini Industries は、1919年に Francesco Angelini によってアンコーナに設立された多国籍産業グループであり、世界21カ国、約5,800名の従業員にて、健康、産業技術、消費財の分野で20億ユーロを超える収益を上げる堅実で多様な実態を表しています。成長のための投資戦略、継続的な研究開発、市場と事業領域に対する深い知識により、Angelini Industries が携わる各分野において卓越したイタリア企業の1つとなっています。

詳しくは、[www.angeliniindustries.com](http://www.angeliniindustries.com) をご覧ください。

#### <JCRファーマについて>

JCRファーマは、「医薬品を通して人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、時代を先取りした再生医療・遺伝子組換え・遺伝子治療技術による医薬品の研究開発・製造・販売を行っているバイオ医薬品のスペシャリティファーマです。1975年の創業以来ターゲットにしている希少疾病領域において、常に「他社より一歩前に出る」独自の技術開発と製品創製に取り組み、様々な疾患に苦しむ患者の皆さんのために持続可能な価値創造の実現を目指しています。信頼、自信と信念をコアバリューに掲げ、従業員、パートナー企業と患者さんを含む全てのステークホルダーのために活動します。Together we soar. <https://www.jcrpharm.co.jp/index.html>

#### 【お問い合わせ先】

Angelini Pharma  
Daniela Poggio  
Global Communications Executive Director  
[daniela.poggio@angelinipharma.com](mailto:daniela.poggio@angelinipharma.com)  
+39 3486558882

JCRファーマ株式会社  
管理本部 広報・IR室  
[ir-info@jp.jcrpharm.com](mailto:ir-info@jp.jcrpharm.com)  
0797-32-1995

---

※ WHO, <https://bit.ly/3VvsC5E>